

## 第6号の刊行にあたって



中央大学理事長・学員会会長  
久野 修 慈

学員の皆様をはじめとし、学生父母、教職員の皆様のご理解とご協力によって支えられた創立125周年記念事業募金は、本年3月をもちまして全ての受付を終了させていただきました。2001年からスタートしました創立125周年記念事業募金は10年間の永きに亘り、常に、深いご理解と温かいご支援を賜りまして、お陰様で事業計画のほとんどを遂行することができました。この間、厳しい経済環境の中にもかかわらず、多くの皆様より心温まるご支援をいただきましたことに、心からの感謝と御礼を申し上げる次第でございます。

本日お届けいたしました、この「中央大学の近況」は2009年5月に学員（卒業生）の皆様へ母校中央大学の現在を知っていただくための広報誌として創刊し、今号で6回目の発行となります。私が理事長に就任し、全国の学員会支部総会等を訪れた際に、母校である中央大学でどのような活動、取り組みが行われているかの丁寧な情報の発信が『学員時報』以外行われていないとのご意見をたいへん多くの学員の皆様からいただきました。

そこで皆様方のご要望に応えるべく、中央大学の今後の運営方針、教育研究活動報告、スポーツ関連報告などの情報を掲載し、学員の皆様へ「中央大学の今」を感じつつ、母校への思いをより強くしていただき、皆様と中央大学の更に強い絆を築きたく、本誌を定期に発刊することといたしました。

多くの学員の皆様方からは、現在の中央大学への強い関心と誌面の充実にご好評をいただいております。このことにより、世代を超えて、学員相互のネットワーク形成に資するものとなっていくと存じております。

中央大学を卒業された学員53万人の皆様は、本学にとってかけがえのない貴重な財産（人財）であります。これまで、実に多くの学員の皆様から真剣に母校を思うお声を聴かせていただいております。今後も大学と学員の皆様との「ふれあい」を何よりも大切に、一人でも多くの学員の皆様との交流を深めて参りたいと存じます。そして、その一つひとつを現在の中央大学に結びつけ、中央大学のよりよい未来を創り、周年記念事業により整備充実した教育研究環境を基に、更なる発展を目指して事業の推進を行い、今後とも、最善の努力を行って参ります。

お届けいたしました冊子から、母校の「今」を身近に感じていただき、これまでも増して、ご理解とご協力を賜りますとともに、忌憚のないご意見等をお寄せいただきたくお願いいたします。

末筆とはなりますが、昨年、東日本大震災並びに原子力発電所事故等により、ご逝去された方、被害に遭われた方に、改めて心からの哀悼とお見舞いを申し上げます。